

「ハレとケ」 通信

第32号

建物にまつわる「非日常」と「日常」の物語をお届けする社外報です。

建設に携わることの幸せを、おすそわけ。

物語のある建築 (32)

「株式会社スワニー

テント倉庫新築工事」

中津万象園を愛した京極のお殿さま、高朗公の漢詩集

「琴峰詩抄に親しむ(6)」



令和4年7月発行

会社最寄りの高速道路乗り場近くに咲く蓮の花
毎年楽しみにしています

「株式会社スワニー」

テント倉庫新築工事」

一般的に建設会社にとって、膜構造(テント倉庫)は遠い存在かもしれない。
建築物といえば、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造等が当然で、弊社にとっても膜構造は「視野に入っていなかった」と言っても過言ではなかった。
にもかかわらず、現在、弊社には、多くの経営者や金融機関より問い合わせが寄せられ、香川を代表する経営者により、新しい時代の舞台として、テント倉庫が選ばれるケースが出て来ている。

発注者(お客様)の想いを叶える舞台としてだけでなく、そのニーズに対する気づきから、建設会社としての新しい可能性が拓けていく—今回はそんな「物語のある建築」である。



全景

令和2年8月。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、不安な日々が続いていた頃、民間工事を主体とする弊社でも、工事の中止・延期など、先行きの見えない閉塞感を感じていた。そもそも建設業とは、典型的な受注産業(注文を受けて初めて製造を開始することができる)であり、建築主であるお客様の業績や事情に左右される。また、現場施工を担当する監督は、少なくとも数か月間、「お客様に預ける」格好となる。自社の仲間よりも密接に、お客様と関わる日々が続くのだ。

—それならば、「いい経営者と、仕事をしたい」。目の前に工事があるかどうかとは関係なく、まずは弊社、そして社員のことを知ってもらい、好きになってもらうことから始めたい。

そんな思いから、(株)スワニー 板野社長に「ぜひ富士建設とも仕事をしてみていただませんか」とメッセージを送ったのが、今回のプロジェクトの始まりだった。
「フワニー テント倉庫新築プロジェクト」。
改めて板野社長にインタビューをしてみた。

真鍋有紀子(富士建設)「板野社長とはずいぶん前からご面識はありましたが、今

回のプロジェクトまでは、facebook等を通じてのお付き合いしかありませんでした。『富士建設のことを知ってほしい。そして、仕事のパートナーとして、候補に入れてほしい』というメッセージが来たとき、『なんだ、いきなり』という違和感はありませんでしたか?」

板野司社長(スワニー)「それはなかったですね。メッセージを見て、真鍋さんの『心の声』と思いました。」

真鍋「富士建設のことを知ってほしいから、プレゼンさせてほしい」とお願いしたものの、『じゃあ、そちらに行きますね。二時間くらいで良いですか』とお返事をいただいた時には実はとても驚きました。わざわざいらしてくださることは想像していませんでしたから。」

板野(敬称略)「モノを買うなら『ショールームを見に行く』とあるのでしょーうけど、今回は建築なので、そうではないですよ。だから、働いている人の雰囲気や、真鍋さんの意見が聞きたかった。それならこちらから『行く』のが良いなと。」

真鍋さんの話を聞きに行つたつもりだったけど、富士建設に行つてみると、監督の皆さんが、自分たちの想いを施工写真と共に各々伝えてくれましたね。それにすぐ感動しました。みんなプレゼンな



板野司社長

んか初めてだったんでしょう。不慣れでどこちないんだけど、それでも自分たちの携わってきたことを一生懸命に話してくれて、その姿に心を動かされました。」

真鍋 あの時プレゼンした監督は、大西、福岡、西尾だったのですが、終わった後、『こういう場を作ってくれるなら、自分たちは全面的に協力します。知ってもらってそのうえで選んでもらえるなんて、最高だ』と思う。またやるなら、声かけてください』と言われたんです。まさか、みんながそんな風に思ってくれるとは意外で、私自身にも大きな感動がありました。

でも、当然のことながら、その時には特に建築の計画はありませんでしたよね。」

板野 そうですね。心を動かされたので、『富士建設に何かしてほしいな』という想いはありましたが、社宅の改修くらいしか考えていませんでした」

真鍋 それがいきなり、プレゼン後1カ月ほど経った時に『テント倉庫を建てたいんだけど、できる？』とメッセージをいただいて……

板野 ちょうど東京で持っていた土地が良いい値段で売れたということもあったのですが、たまたま本社のある空き地を眺めていた時、『そうだ、ここに倉庫を建てよう』とインスピレーションがわいたんです。徳島空港の近くで見たテント倉庫を思い出した。これまでは遠方に外部倉庫を借りていたのですが、それを集約しよう！と。」

真鍋 インスピレーションですか？」

板野 そう、インスピレーション経営ですから(笑)。普段から直観力を大切にしているんで、見て来たこと、考えてきたこと、出会うことがつながった感じです。」

真鍋 お問い合わせいただいてから見積提出までも確か2〜3日の猶予期間でしたが、建設の意思決定をされるまでの期間が本当に短かったですよ。社内での

協議などはいつされたんですか？」

板野 問い合わせとほぼ同時ですね。相談したとたん、社員みんな、『良いですねー』と。すぐに決まりました。」

真鍋 テント倉庫に対する不安などはなかったですか？」

板野 『どんな倉庫がいいだろう？』と想像した時、最初からテント倉庫のイメージが浮かんでいましたし、富士建設から提示されたテントメーカーのホームページにも実績がたくさん載っていましたので、不安感はありませんでした。ただ、当初は安いだろうなあというイメージしか持っておらず、メリットとして、価格とスピード感だけを想定していました。」

真鍋 スピード感は重要なんですね。」

板野 スワニーは製造も販売も海外でビジネスをすることが多いわけですが、海外ビジネスでは、スピードがものすごく大事なんです。特に、サプライヤー(協力工場)の意思決定は強烈なトップダウンによるので、それが顕著です。

例えば、新型コロナウィルス感染症の影響でロックダウンになり、生産量が3分の2になる、納期が遅れる……という連絡がサプライヤーから来たとして、それに対して『それでは困る』と私が伝えたとしても、そうすると、董事長(台湾系の企業の

トップのことが)他の仕事は全部止めて、スワニー以外の仕事はするな。スワニーの納期に間に合わせろ』と言えば、即日そうなる。トップの力が絶大で、だからこそこちらの意思決定が遅れば、もう附いていけない。トップダウンだからこそスピード感です。」

真鍋 スワニーさんも、トップダウン経営なんですか？」

板野 むしろスワニーとしてはトップダウン経営を否定してミドルアップダウンを目指していますが、いざとなったら『これで行こう』と迅速にトップが決めることもあります。弊社の場合、グループ社員数が1000人をはるかに超えていますし、海外拠点等に多く社員がいる。なので、日ごろは責任者が実務をすることが組織として出来上がっており、ミドルアップダウンが現実的にも適しているんです。

そのため、大きな視点で意思決定していくことが私の役割になります。先ほどの董事長の『スワニー以外を全部止めてでも間に合わせる』という判断も、日常のトップ同士の協力関係があるからです。

例を挙げれば、台湾で『コロナウィルスが蔓延したときに、『薬が欲しい』と依頼が来たのですが、スワニーにはカンボジアのルートがあり、それを使えば薬を買うこと

ができた。それを台湾に現地から送るわけです。

そういう普段からのやりとりを大切に、いざという時には思い切つて力を借りる。それが海外とのビジネスを支えています。」

真鍋 今回の建設の決め手となったのは、一括償却ができる(注：中小企業経営強化税制を活用すると、テナント倉庫は一括償却が可能)ことも大きかったですね。そのため、『1月末までに完成を間に合わせてほしい。間に合わないなら要らない』と、明確な条件付けがありました。

担当したのは弊社の高島(営業)、吉峰(設計)、福崎(施工)。タイトなスケジュールの中で最初に工期がもたつたとき、『スワニーもモノづくりをしている会社だから、工程が遅れてそれを取り戻すために急ぐということは品質の劣化につながると感じている。厳密に管理をしてほしい』と、板野社長から注意をいただいた経緯もありました。」

板野「そうでしたかね?でも、福崎さんがピシッと計画を作ってくるので、安心感がありましたよ。自分は『苦言も口にするタイプ』だと思うのですが、今回は殆ど何も言っていないはずですよ」

真鍋 そうですね。福崎が濃やかに報告



板野社長から手袋のプレゼント

メールを入れていましたが、情報共有のためにCCで私を入れてくれるので、おかげでメール受信画面の見える範囲がすべて福崎からになっていたこともありまして。スワニーさんの川北常務が、それに丁寧に返信をしてくださって…。板野社長はそういった詳細な報告を求める方なのでしゅうか?」

板野 実は、普段はあまり細かいことまで知りたくはない方なんです(笑)。細かく全部把握していたら、とてもじゃないけど対応できないので。

ただ、工事の途中で、雨が降った、風が吹いた…とそういう時、必ず福崎さんが

見に来てくれているんです。工事をしていない日曜の朝九時に行っても、現場にいる。『あれっ、見に来てくれたん、ありがたうね、申し訳ないね』と言うと、『いや、僕は今から白鳥温泉に行くんで、ついでですよ。気にせんとってください!』と、照れで誤魔化すわけです。『ぜったい温泉行かんやろ!』と思うつつ、それが本当にうれしかった。

だから、竣工時に、イタリア製の革のオーダー手袋をプレゼントしたんです。」

真鍋 あれは、福崎も本当に喜んでいました。」

板野 福崎さんは、あの手の大きさでしゅものすごく大きい。見た瞬間に、『市販の手袋は、サイズが合らなとがなだらうな』と分かるんです。だから、彼の手に合う手袋を作つてあげたかった。彼はその他にも、うちが設置していた掃除道具入れがガタガタしていたのを組み立て直してくれたり、いろいろしてくれました。人に喜んでもらうことが本当に好きな人なんではしゅうね。きつと、そのために仕事をしているんじゃないですか?」

真鍋 たしかに、そうかもしれません。サービスばかりしすぎて、会社からすれば小言を言わざるを得ないことも多々ありますが。建設業にホスピタリティとい

う言葉は似合わないかもしれませんが、とてもその気持ち強い監督です。」

板野「そういうのは今回のテントの色はね、実は僕はグレーが良いと思つていたんです。汚れも分かりにくさうです。そうしたら、彼が『白がええしよ!』と自信満々で言う。なんの根拠だ!と思ひながらも信用して白にしたわけですが、建つた瞬間、めちゃくちゃカッコよかった。うちの社名はスワニー・白鳥ですが、まさに白い鳥、白鳥やん!と。それで、『道からよく見えるこのテントに、魂を入れよう』と思つて、パーパス、つまりスワニーの大きな目標を入れました。」

真鍋 『世界中に、あたたかさを届ける』ですね。これはどうやって決めたんですか?」

板野 コピーライターの人見訓嘉さん(CO-RE)／高松市と一緒に作ってくれたんです。スワニーも、新型コロナウィルス感染症の影響による閉塞感がありました。キャリーバッグなんかは、シンガポールや香港でよく売れていたんですが、コロナ禍で売れなくなつた。そんな中で、我々のブランド価値を高めて、商品を世界中に届けていく。それを一言で表現した言葉ですよ。これから人の往来も増えていき、ビジネスも変わっていくでしゅうけれ



テントパーパスが入った

「どこのパーパスは変わらないですね。」
真鍋「そして、テント倉庫が完成したわけですが…。皆様の反応はいかがですか？」

板野「作業をする社員が、明るくて気持ちいい、晴れ晴れとして仕事をしていて楽しい」と言うんです。夕方まで電気はいらないですし、明るいというところがこれほど働く人にとって大きな影響を与えるのか、という驚きがあります。これまでの倉庫でやっていた作業と、内容は全く同じなんです。荷物が届いたら中に入れて、開けて、組み立てて、シールを貼って…。でも、薄暗かったスレートの倉庫でやるのとは全然違うんですね。社員のその声が何よりうれしい。社員の心を明るくしてくれる倉庫ですね。」

あと、本当に多くの地域の人たちが見に来てくれました。動物園、市長、企業…。先方から「中がどうなってるのか見たい」と申し入れがあるんですが、中を見ると「かつこいい」という人が多いのにびっくりしますね。僕自身は、外観はカッコいいと思ったものの、中については「おお腹の中だなあ」という印象しかなかったので（笑）」

真鍋「テント倉庫ができてから、いつも『あと3棟は建てたいねー』と応援してくださいませよ。有縁を度すというお言葉を大事にしていると伺いましたが、そのお気持ちからですか？」

板野「そういうところもあるけれど、単純にテント倉庫を建てて本当に良かったと思ってるから、もっと知ってほしいんです。」

明るい、柱がない、社員のストレスが軽減される、一括償却できる、工期が短い、コストが合理的、そして涼しい。今のところ悪いことは一つもない。」

真鍋「そう何って安心しました。私たち建設会社にとっても、テント倉庫の魅力に気づけたことは、本当に大きな財産になりました。板野社長からのオファーがなかったら、今も、膜構造について新しい選択肢としてこんな風に積極的に取り組むことは無かったと思います。」

では、最後に、スワン二さん、板野社長の未来を教えてください。」



社内向け説明会



板野「安岡正篤の言葉に物事は根本的・長期的・俯瞰的に見なさい、という言葉があるんですが、中小企業だけじゃなくバルにビジネスを展開しているスワン二にとつて、これは非常に大切です。ただ、なかなか難しい。でも、先日、社員から『社長、ウクライナの情景をテレビで見たら、みんな寒そうにしていたんです。手袋送りましょーよ』という意見が出て、早速手袋を物資として送ったりもしたんですよ。そういった姿勢は、『世界中にあたたかさを届ける』というパーパスや、未来につながるものだと感じますね。」

また、僕の役割は、グループ全体を俯瞰的に見ることで、トップとして、経営者としてのイメージとなりやすいことを踏まえたセルフブランディングも大事だと思っています。ネガティブな感情をできるだけ出さないようにすることも重要です。中小企業の経営者は、まじめであるほど自分をストイックに追い込みがちだけれど、それではスワニーの企業イメージに必要な『若々しくて活動的でカッコいい』は実現できない。そのために、経営者と



して、会社の顔だからこそ、仕事もプライベートの気分転換も大切にする。

テント倉庫にバスを入れたことで、あれがスワニーという会社そのものになりました。『世界中にあたたかさを届ける』スワニーの象徴ですよ。これからどんどん、世界中にあたたかさを届けていきますよ。」

真鍋「え、立派な本社の社屋があるのに、テント倉庫が御社の象徴でいいんですか？」

板野「いいんじゃないの？だって、本社は立派だけど、普通の建物だもの(笑)」

令和3年の1月に竣工したのち、板野社長の元へ多くの人が見学に訪れた。それに背中を押されるように、弊社でも改めて『テント倉庫』という建物について、その長所、短所の検証を開始。コスト、工期、土地の将来的な転用、短い償却期間、環境的な性能など、様々な要素を従来の在来工法に依る倉庫と見比べたうえで、改めて『新しいチャネルのひとつ』として、積極的に必要な人へその情報を届けるべく、営業活動を開始した。その成果として、令和4年4月には、サンテック(綾川町)に新しいテント倉庫が完成する。典型的な受注産業である建設業とか

らこそ、お客様の要望を聞き、それに基つき建設をするのが、当たり前のことだと考えてきた。しかし、今回のスワニーのテント倉庫によって、私たちは初めて「魅力とメリットのある商品を、それを必要としている人へ届ける」という、受注産業の殻から一歩外へ踏み出す視野と体験を手に入れることができた。そしてそれは、この先、様々な提案と展開しうる体験になるだろう。

このテント倉庫は、「スワニーの象徴」と板野社長は言う。もちろん、そこで作業する社員の方々からも、心から喜んでいただいている。しかし同時に、富士建設にとつては新しい武器を板野社長からもらったのだと感嘆している。

そういった意味では、スワニーはお客様というよりも、むしろ新しい富士建設の可能性の扉を開いた、恩人なのだと思う。

「物語のある建築(32)」了



お引渡し後、みんなで記念撮影

—営業担当者の立場から—
営業担当執行役員 高島 茂樹



営業部の高島茂樹です。今回スワニー様と御縁を頂きまして、テント倉庫を建築させて頂きました。誠にありがとうございました。

思い返してみますと、本当によく短期間で完成したと思います。実際テント倉庫のお話をお伺いしたのが1月で、翌年1月には工事を完了する事ができました。

当初、スワニー様より1月完工を依頼された時は正直不安でした。テント倉庫が短工期なのは知っていましたが、それまでに必要な調査、計画、申請を含めて4カ月少々で出来るとは思えませんでした。しかしせっかく頂いたご相談を建物として完成させたい思いで、敷地・利用条件等の調査から始めました。最初の開発関係の申請に少々時間が掛かり工期を圧迫してしまいましたが、スワニー様のご協

力もあり、計画は順調に進み、建築確認についても非常にスピーディーに済証が発行されました。工事部門には外構工事も含めて2か月での施工となり、無理を言いましたが、しっかりと工期内に完成してくれました。

私自身、不勉強でテント倉庫については無知でしたが、今回のプロジェクトを通じてテント倉庫(膜構造)について深く知る事が出来たと共に、「この建物は一ズがある」事を確信しました。詳しくは弊社ホームページをご覧くださいのですが、明るく、短工期、低価格で、倉庫だけでなく作業所、オフィスとしても活用できる等、知れば知るほど非常にメリットのある建物だと思いました。

現在、弊社は既存工場等の問題解決(増築等により法的要求が満たされなくなった建物の解決方法を模索に力を入れております。その中で新たに1つの選択肢が出来ました。今回の御縁が無ければ私自身「膜構造」を知らなかったかもしれません。

最後になりますが、(株)スワニー板野社長には営業面でも非常にお世話になり、ありがとうございました。今後共、末永いお付き合いをどうぞよろしくお願い致します。
(高島 茂樹)

テント倉庫のご紹介ページのご案内

テント倉庫の特徴や長所・短所をお知らせするために作成したホームページでは、「倉庫に保管する商品の向き・不向きはありますか?」「倉庫以外の工場・店舗・作業場などの用途も可能ですか?」「一般建築倉庫と比べて夏に暑くならないのですか?」など、皆さまからよく寄せられる質問にもお答えしています。

また、お客さまの声として、(株)スワニー様と、(株)サンテック様のコメントを掲載。実際にご利用くださっている方のお声を聞くことで、「自社に建ったなら...」とイメージしやすくなるかと考えています。

<https://tent.fujikensetsu.jp/>



↓ クレーン付きテント倉庫 (株)サンテック様



ぜひご覧ください!→



〇コンテンツ

テント倉庫をご紹介

富士建設がテント倉庫をおすすめする6つの理由

実際に導入されたお客様の声をご紹介

(株)スワニー様、(株)サンテック様

テント倉庫建設までの流れ

よくある質問

中津万象園を愛した京極のお殿さま、高朗公の漢詩集

「琴峰詩抄に親しむ(6)」

丸亀をよなく愛した京極家六代目藩主高朗公号を琴峰と称する。

1738-1874の漢詩集【琴峰詩抄】より、詩をお届けいたします。

旅の途中で、また領内のあちこちで、詩の題材を発見して歩いた、琴峰さん。

このお殿さまは漢詩を趣味とし、生涯に二万首にも及ぶ詩を詠んだといわれていますが、日々の喜びや出来事などを丁寧な詠った詩の数々は、まるで、お殿さまの体温が伝わってくるようで、知れば知るほどあたかい気持ちになつてきます。

その中から、まずは8回にわたって、お城から中津万象園へ至る道の情景を詠んだ漢詩をご紹介します。

九月十四日野外間行(巻六)

宿霧纔消天未明。

金鞍村裡跨鞍行。

知他野寺僧初起。

梵鼓寥寥隔竹鳴。

濃い霧はわずかに消えたが空はまだ明るくならず、

金倉村へ鞍に跨りて行く。

誰が知っているだろう、野にある寺の僧が起き出す時を。法鼓が打ち鳴らされる音が竹の回廊から聞えている。



【編集後記】 ようやく32号を発刊することができました。今回は弊社にとって様々な意味で大きな方向転換のきっかけとなった、スティーブ様の物語です。(詳細は本文をご覧ください)

皆さまもご存知の通り、弊社は丸亀市指定名勝である中津万象園という大名庭園の維持保全に長年取り組んでまいりました。昭和45年の購入当初は荒れ果てたお庭を、現在まで美しい姿のまま維持することは正直生半可なことではありませんし、どれほど社会的に必要なことであろうと、「社員にしろ寄せをせずに行っている」と堂々と言える業績を出すのは易しくありません。それだけに、「この場所がある」ということは経営のど真ん中にあり、企業と社会との係わり方、民が公益を支えていくといった「これからの企業のあるべき姿」は、この場所のあり方を深く考えるところから学んだと言っても過言ではないのです。

とりわけ私にとって強烈に刻まれたのは、「地域貢献、文化の維持とは綺麗事ではない」ということ。事業が事業だけに浮世離れしているように思われがちですが、莫大な管理費用のかかる生き物(庭園)が対象だからこそ、「論語と算盤」と「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」といった言葉は、「経済を軽視しない」という自戒と共に、実感をもつて信じられます。但し、逆に「簾に梅の枝挿して戦場を駆け回る」心境の共感も強くあるのは事実で、「どれほど殺伐と厳しい戦場(実業の世界)だろうが、簾に梅の枝一本挿す心根を馬鹿にすることはできず、非難もできない」という想いも強くあります。

—そんな想いを生かして、本業である富士建設のもつネットワークと中津万象園という場所があることの相乗効果を上げられる事業を何かできないだろうか……と模索した結果、今年度【(仮)企業・市民・アートの紡ぐ物語展】を計画しました。民間企業が文化に投資する流れを、ここから作っていきます。それは必ず、地域の未来を豊かにする取り組みだから。

(真鍋有紀子)

*****御意見、御感想をお聞かせ下さい*****



建設業許可: 香川県知事許可(特 3)第189号 / 一級建築士事務所: 香川県知事登録 第416号 / 宅地建物取引業免許: 香川県知事登録(12)第1997号

富士建設株式会社

本社: 〒769-1101 三豊市詫間町詫間 300 番地 1

TEL0875-83-2588(0120-832589)

FAX0875-83-5864

http://www.fujikensetsujp

mail y-manabe@fujikensetsujp (真鍋有紀子)

【発行者紹介】富士建設株式会社は、現存する五重塔55基のうち2基を建立し、「建築は文化なり」を理念に掲げて、官公庁建物・各種施設等大型建築物をはじめ、数寄屋風住宅、デザイン住宅、リフォームまで幅広く施工している。

また、県下において 1300 区画超の宅地開発・分譲の実績を持ち、「街づくり」に対する貢献には定評がある。なお、丸亀市指定名勝である「中津万象園」の修復維持保全活動も行っている。

■営業所: 高松営業所・丸亀本店・観音寺営業所

■中津万象園・丸亀美術館 / 丸亀プラザホテル / 味処 懐風亭

■富士ホールディング(株) / フジ開発(株) / (有)住まいの創夢 / (株)久保田工務店